

ゆるやかな見守り 新しい地域の支え合い活動

最近では、少子・高齢化や社会構造の変化等により、地域のつながりが希薄化されていると言われています。地域の中で孤立化する一人暮らし高齢者や認知症高齢者等が増加する中、見守りや災害時の助け合いなど、地域の課題が増大化・複雑化してきているのが現状です。そこで、平成27年に介護保険制度が改正され、新しい総合事業と生活支援体制整備事業のもと、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進委員）」と「協議体」という仕組みが誕生しました。

住民主体の地域づくり 「深沢会議」

鎌倉市地域包括支援センター
湘南鎌倉便り

高齢者
よろず相談所

第54号
夏号
鎌倉市
地域包括支援センター
湘南鎌倉

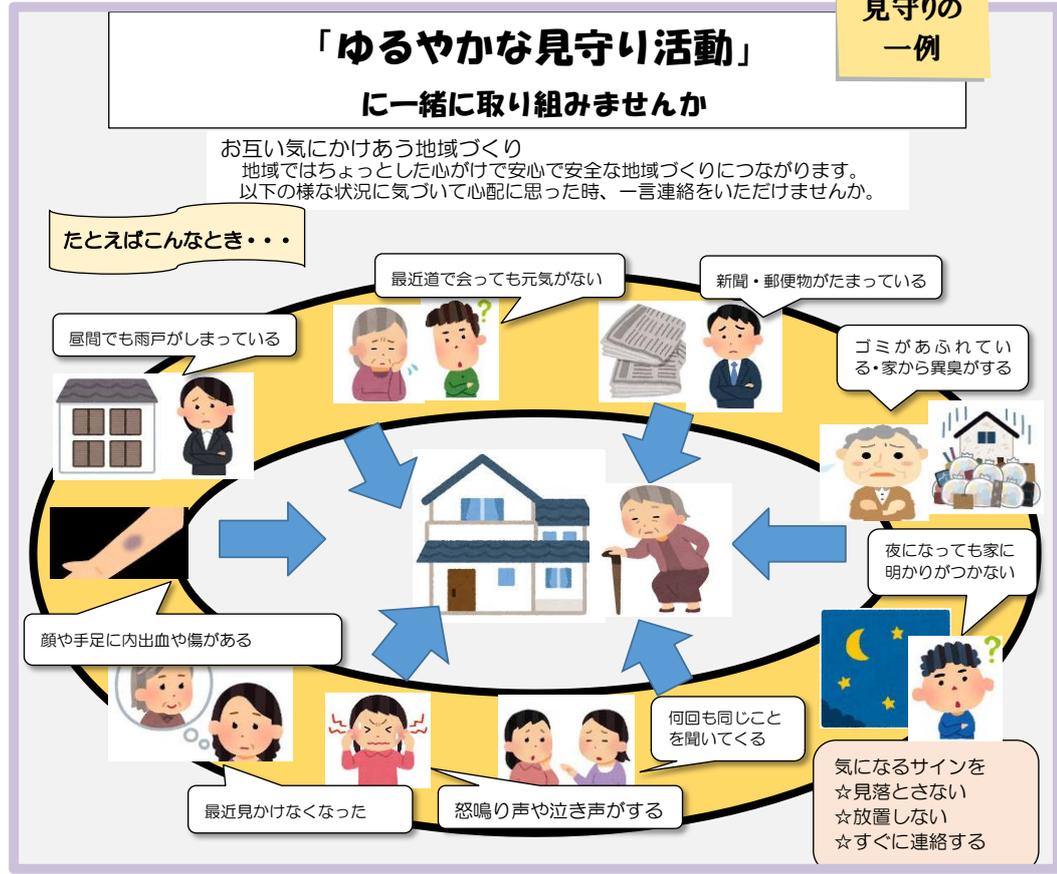
発行人責任者
宮谷清美
0467-41-4013

【 担当地域 】
山崎
梶原
(一丁目～五丁目)
寺分
(一丁目～三丁目)

深沢地区におきましても、「深沢地区の高齢者福祉を考える協議体」(通称「深沢会議」)が令和2年7月に発足しました。

この「深沢会議」は、介護保険法に位置付けられ、深沢地区の生活支援コーディネーター(高橋貴美恵さん(鎌倉市社会福祉協議会)が事務局運営、地域の調整役を担っています。自治町内会、深沢地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会の代表者と地域包括支援センターの職員が集まり、新しい地域の支え合い活動の仕組みづくりの一つである、ゆるやかな見守りについて話合っています。

「深沢会議」資料より抜粋



こんなときは地域包括支援センターへ ～将来介護するかもしれない方も相談できます！～ 家族支援編

昨日まで元気だったのに 今日、入院した！

親が元気うちに準備が必要かなあ。いつ始まるかわからない、親の介護。

介護保険申請のお手伝いや、利用できるサービス等のご案内をいたします！

お気軽にご相談ください。

地域包括支援センターは鎌倉市から委託された公的な相談機関です。秘密厳守のうえ、相談・支援にあたります。